

## 2005/06シーズン後半におけるB型インフルエンザウイルス の集団発生－山口県

戸田昌一，岡本玲子，西田知子，中尾利器，  
吉川正俊，宮村恵宣

病原微生物検出情報，27(6)，150～151(2006)

山口県における2005/06シーズンのインフルエンザの流行は中規模のものであり，3月中旬には一旦終息したと思われたが，4月25日に県東部の小学校において，インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の措置がとられるとの連絡があり，検査を実施したところ，ビクトリア系統のB型インフルエンザウイルスが分離同定された．この事例は，インフルエンザの流行がいったん終息したと思われた後の集団発生事例であり，近年では見られなかった流行

のパターンであった．また，分離された株は，2005/06シーズンの主流株であるAH3型やAH1型によるものではなく，ピーク時に全く分離されなかったB型ウイルスであり，さらに，ここ2年間のB型の主流であった山形系統株ではなく，ビクトリア系統に属する株であった．これらのことから，来シーズン（2006/07）のB型インフルエンザの流行の動向には注意する必要があると考えられる．